

Title	彙報（1978年3月～9月の研究活動）
Author(s)	
Citation	大阪外国語大学学報. 43 p.135-p.144
Issue Date	1979-02-19
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/80733
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

彙 報

(1978年3月～9月の研究活動)

I 本期間中に学報のほかに次の研究誌が発行された。

『études française』第15号 (1978年3月)

1. 非伝達の言語 —《夏の夜の10時半》から—……………赤 木 富美子
2. 超越論的運動としての身体と情緒……………山 形 頼 洋
3. 18世紀フランスの「農業革命」について……………阿 河 雄二郎
4. 散文詩 *Le Crépuscule du soir* について……………御 興 倫 己
5. 「études française」総目次 (第1号～第15号・1961年～1977年) ……………

『日本語・日本文化』第7号 (1978年3月)

1. 連体修飾のシンタクスと意味—その4—……………寺 村 秀 夫
2. 渡辺実の構文論 —文成立論を中心にして—……………仁 田 義 雄
3. <従属句> に於ける格表現について
—モンゴル語との比較対照的に—……………山 口 幸 二
4. 『漂海紀聞』の中に見られるロシア語—その1—……………生 森 将 人
5. The La Jolla Program 1977 Summer Institute に参加して
—比較文化論的考察 (続) —……………氏 原 寛

6. 書評 “The Tone Pattern of Japanese: An Autosegmental

Theory of Tonology” by Shosuke HARAGUCHI ……………山 本 ススム

『Estudios Hispánicos』第4号 (1978年3月)

1. 進行形「*estar + gerundio*」に関する考察(1)……………中 岡 省 治
2. 基底時制と表層時制……………出 口 厚 実
3. スペイン語のいわゆる可能法について……………伊 藤 太 吾
4. Javier Pérez-Royo 博士稿 (訳) —(I):

「Marx 批判者としての Ladislao von Bortkiewicz —Sweezy の側による

von Bortkiewicz の批判の摂取と捏造—……………山 崎 俊 夫

5. —マルセル・バタイヨン博士を偲んで—

「新法」撤回に関する一解釈……………染 田 秀 藤

6. レオンの夏……………森 本 久 夫

7. El Estudio del Español ……………Domingo Ledesma

『日本語・日本文化』第8号 (1978年9月)

1. 語法と社会通念……………寺 村 秀 夫
2. 指示語の表現性……………堀 口 和 吉

3. 打消助動詞「ない」の一特性

—アスペクトを表わす場合—……………小矢野 哲 夫

4. 「た」をめぐる一考察……………大 倉 美和子

5. 『漂海紀聞』の中に見られるロシア語—その2 ……………生 森 将 人

6. 「見える」とそのスペイン語訳

—『坊っちゃん』『砂の女』を通じて……………蔭 山 昭 子

7. —翻訳についての—一考察

—翻訳における〈アジア視点〉について……………山 口 幸 二

8. カウンセリングにおけることばの問題

9. —いわゆるノンバーバルコミュニケーションについて—……………氏 原 寛

10. Gotobain GOTOBAIN

『SPRACHE UND KULTUR』第13号 (1978年9月)

1. 日本語とドイツ語の関係表現

—「仮想の送り手」と関連して—……………乙 政 潤

2. 「中立志向的な動詞」を伴う構文について……………松 原 敬 之

3. J. G. Schottelius の歴史的ドイツ語観

—母国語讃美と規範化志向—……………高 田 博 行

4. 演劇理論の発展 —晩年のブレヒト(3)—……………八 木 浩

5. 中期、後期文芸論にあらわれたシラーの創作方法をめぐって

—とくに「理想化」の問題—……………中 谷 彰

6. ブレヒト「丸頭ととんがり頭あるいは富める者と富める者は手を組む」

についての—考察……………山 口 泰 代

7. Bochum 大学の日本学……………布 施 俊 夫

*

*

*

〔以下、A…著書・訳書、B…雑誌掲載論文、C…口頭研究発表〕

*

*

*

〔モンゴル語学科〕

■ 橋本 勝

B 1	モンゴル語研修について	「アジア・アフリカ言語文化研究所通信」 第31号 東京外大アジア・アフリカ言語文化研究所	1977.11.25
C 1	モンゴル語研修について	東京外大A・A研「言語研修」合同会議	1977.10.21
2	日本語系統論に寄せて	「水門の会」冬季例会	1977.12.17
〔インドネシア語学科〕			
■森村 蕃			
B 1	Ti ga Cerita Kanak-Kanak Jepang	「大阪外大学報」 第41号	1978. 2.20
C 1	Khattulistiwaという語について	第8回日本インドネシア学会(京都)	1977.12. 8
〔インド・パキスタン語学科〕			
■溝上 富夫			
B 1	Bilingualism in Punjab—A Case Study in Lyallpur City—	「印度学仏教学研究」 第26巻2号 印度学仏教学会	1978. 3
2	ヒンディー語とベンガル語の疑問表現について	「アジアアフリカ文法研究」6 東京外大アジア・アフリカ言語文化研究所	1978. 2.25
〔タイ・ベトナム語学科〕			
■吉川 利治			
B 1	タイ国における外国語教育の開始と国際関係—英語、フランス語、中国語の場合—	『言語教育と国際関係』大阪外国語大学	1977
2	ラオスの伝統的統治体系	『東南アジア—歴史と文化—』 東南アジア史学会	1977.12.15
3	チャードク	『日本昔話辞典』 弘文堂	1977.12.20
4	「アジア主義」者のタイ国進出—明治中期の一局面—	「東南アジア研究」16巻1号 京都大学東南アジア研究センター	1978. 6
5	アユタヤー朝、スタータイ朝、ダムロン親王、チェンマイ、ナライ王、ラオス、ラームカム	『東南アジア社会文化辞典』 東京堂	1978. 9.20

ヘーン王

〔アラビア語学科〕

■池田 修

A 1	ジャーヒリーヤ時代のアラブ女性	「世界の女性史」13 ー東方の輝きー 評論社	1977. 6.30
2	アラビア語入門	岩波書店	1976.11.26
3	失われた意識 ムハンマド・オーダ共訳	アジア経済研究所	1977. 2
4	アルカルナック ナギーブ・マフフーズ共訳	アジア経済研究所	1978. 7
5	不幸の樹 ター・ハー・フセイン共訳	「現代アラブ全集(1)」河出書房新社	1978. 7

〔英語学科〕

■林 栄一

A 1	音韻論総覧	大修館	1978. 9.10
-----	-------	-----	------------

〔ドイツ語学科〕

■八木 浩

B 1	リルケの演劇作品の意義	「リルケ・変容の詩人」 クヴェレ会	1977.12.28
2	生産のドラマー「農民」「建設」	「ハイナー、ミュラー」 現代演劇研究会	1978. 5. 8
3	ブレヒトからの太い枝	「新劇界」No.4 季刊・新劇界	1978. 5.10
4	ブレヒトの遺産	「科学と思想」 第29号 新日本出版社	1978. 7. 1
5	理論の発展ー晩年のブレヒト(3)ー	「Sprache und Kultur」13 大阪外国語大学ドイツ語学科研究室	1978. 9.27

■乙政 潤

B 1	(調査報告) ドイツ連邦共和国における視聴覚外国語教育のいくつかの断面	「大阪外大学報」 第40号	1978. 3.15
2	日本語とドイツ語の関係表現ー「仮想の送り手」と関連してー	「Sprache und Kultur」13 大阪外国語大学ドイツ語学科研究室	1978. 9.27

B 3	BRD の視聴覚外国語授業論	「ドイツ語教育部会会報」14 日本独文学会ドイツ語教育部会	1978.10.13
C 1	ドイツ語部会討議「外国語教育環境とLL」 を司会	語学ラボラトリー学会第17回全 国大会	1978. 7.25
■村田 武			
B 1	戦後東ドイツにおける土地改革と農民経営	「土地制度史学」第77号 土地 制度史学会	1977.10
2	茶園造成と共同製茶で経営をのばす（京都府 南山城村）	「あすの農村」1977年12月号 新日本出版社	1977.11.20
〔デンマーク語学科〕			
■岡田 令子			
B 1	カーレン・ブリクセン—詩人の使命— Heretica との関係において	「大阪外大学報」 第41号	1978. 2.20
■菅原 邦城			
B 1	ソルリの話とヘジンとホグニのサガ	「大阪外大学報」 第41号	1978. 2.20
C 1	「ユラン法」(1241年)の諸伝本における中世 デンマーク詞関係詞	日本言語学会第75回大会（於京 都外国語大学） 「言語研究」 73号（要旨）	1977.10.16
〔イスパニア語学科〕			
■山崎 俊夫			
A 1	国際観光事業と政府（イスパニア語版）	芸林書房	1978. 2.10
B 1	現行コマンダ遺制：イスパニア国海商法(5) —条文訳及びアルヘンチナ国法との若干の対 比—	「大阪外大学報」 第40号	1978. 3.15
2	Javier Pérez Royo 博士稿（訳）—(1)：「Marx 批判者としての Ladislao von Bortkiewikz」	「Estudios Hispánicos」 第4 号 大阪外国語大学イスパニア 語学科研究室	1978. 3.20
■出口 厚実			
B 1	スペイン語 se 統一仮説に向けて	「大阪外大学報」 第42号	1978. 3

2	基底時制と表層時制—スペイン語時制体系の形態・統語・意味論的素描—	「Estudios Hispánicos Vol. 4」	1977.
3	書評: Michio Peter Hagiwara (ed): Studies in Romance Linguistics. Newbury House Publis her. 1977	「Más y Menos」 復刊No.1	1978. 2
C 1	名詞句—動詞呼応のタイポロジーについて	関西スペイン語学研究会第28回例会	1978. 3
2	スペイン語における生語・半生語・無生語—se 受動文の問題点	日本ロマンス語学会第14回年次大会	1978. 5
■伊藤 太吾			
A 1	アルゼンチンの昔話 (共訳 pp 8~276)	三弥井書店	1978. 7
B 1	スペイン語のいわゆる可能法について	「Estudios H ispánicos」 4	1978. 3
2	ルーマニア語の特異性について—ロマンス諸語との形態的比較	「大阪外大学報」 第42号	1978. 3
■三原 幸久			
A 1	日本昔話辞典 (共編・「スペインの昔話」ほか計105項目執筆)	弘文堂	1977.12.20
A 2	アルゼンチンの昔話 共訳	「世界民間文芸叢書」第8巻 三弥井書店	1978. 7.15
B 1	「なぞかけ」(プエルトリコの昔話) ほか6編	N H K テレビ・スペイン語講座 テキスト 昭和52年10月号~昭和53年8月号 日本放送出版協会	1977.10. 1 1978. 8. 1
B 2	中世カタロニアの寓話集「獣の春」試訳(1)	「大阪外大学報」 第41号	1978. 2.20
■堀内 研二			
A 1	わが姉アントニア	「世界短編名作選・スペイン編」 新日本出版社	1978. 8.25
B 1	バリェ=イン克蘭の前期作品における死のテーマについて	「大阪外大学報」 第41号	1978. 2.20

〔哲 学〕		
■大峰 顕		
B 1 真理とは何か	「理想」No534 理想社	1977.11
B 2 花月の思想—芭蕉とヘルダーリン—	「新国語研究」 第22号 大阪府高等学校国語研究会	1978. 5
C 1 フィヒテと西田哲学	西田幾太郎博士33回忌記念講演寸心会	1977.12.10
■細谷 昌志		
A 1 キェルケゴールの宗教思想 E. ガイスマー著 共訳	東海大学出版会	1978. 7. 5
B 1 カントにおける自然	「大阪外大学報」 第40分	1978. 3.15
B 2 キェルケゴールにおける〈直接性〉の問題とカントの〈物自体〉	「キェルケゴール研究」 第8号 キェルケゴール協会	1978. 9.30
C 1 カントにおける幸福の問題	日本宗教学会第36回	1977.10.15
〔国語学〕		
■吉田 金彦		
A 1 諸源的意味と文脈的意味	明治書院『国語学と国語史』	1977.11.10
2 国語学研究事典（共同執筆）	明治書院	1977.11.20
3 ことばのカルテ新版	三省堂	1977.12.20
B 1 万葉のことばと文学（14、15、16、17、18、19、20最終回）	「短歌研究」34巻10～11号、35巻1～6号	1977.10. 1 ～1977.11. 1 1978.1.1～ 1978. 6. 1
〔歴史学〕		
■間野 潜龍		
A 1 「大学衍義補」の「正朝廷」について	燎原書店『明清史論叢』	1977.12.26
B 1 成化初年の民瘼と御史の役割	「東洋史研究」第37巻2号東洋史研究会	1978. 9.30
〔法律学〕		
■貝田 守		

A 1	借地借家法 (判例コンメンタール)(共著)	三省堂	1978. 9.10
B 1	公務員および国の責任	「法律時報」50巻6号 日本評論社	1978. 6. 1
C 1	公務員および国の責任	不法行為責任研究会	1978. 3.21
2	ドイツ民法債権譲渡について	ドイツ財産法研究会	1978. 8.27

〔保健体育〕

■辻 忠

B 1	ハードトレーニング時の酸塩基平衡における腎の調節	「武庫川女子大学紀要」第25集	1978. 2
C 1	運動性貧血時における赤血球脆弱性について	第32回日本体力医学会大会	1977.10. 5
2	鍛練者と非鍛練者の運動性貧血時の血液性状について	第32回日本体力医学会大会	1977.10. 5
3	運動性貧血の発生機転について	日本体育学会第28回大会	1977.10.13

■松下 唯夫

A 1	JAZZ GYMNASTIC—基本と作品集 part 1	京都ジャズ・ジム研究会	1978. 3
B 1	イメージスキー	「月刊スキージャーナル」 142号～152号	1977.10 ～ 1978. 8

〔留学生別科〕

■寺村 秀夫

A 1	日本語の文法 (上)	国立国語研究所	1978. 3
B 1	連体修飾のシンタクスの意味・4	「日本語・日本文化」 7号 大阪外大留学生別科	1978. 3
2	語法と社会通念	「日本語・日本文化」 8号	1978. 9
3	「トコロ」の意味と機能	「語文」34輯 大阪大学文学部	1978. 6
C 1	説明の表現—ワケダなど	第1回日本語教育国際会議	1978. 3.16
2	日本語教育のための日本語と外国語「格」対照研究・感情表現について (共同研究発表)	文化庁日本語教育研究協議会	1978. 3. 2 および3. 9

■氏原 寛

A 1	コクスヘッド, D., ヒラー, S.『夢』(共訳)	平凡社	1977.12
B 1	心臓神経症と思われる患者との面接	「大阪外大学報」第40号	1978. 3

—夢をめぐる—			
B 2	The La Jolla Program 1977 Summer Instituteに参加して—比較文化論的考察—	「日本語・日本文化」 7号 大阪外大留学生別科	1978. 3
3	カウンセリングにおけることばの問題 —いわゆるノンバーバルコミュニケーションについて—	「日本語・日本文化」 8号	1978. 9
4	生徒理解の今日的課題 —子供の行動の底にあるもの—	「兵庫教育」第30巻第4号	1978. 7
C 1	ラテンアメリカ2世留学生とのカウンセリング	日本教育心理学会第19回総会	1977.10
■山口 幸二			
B 1	〈従属句〉に於ける格表現について —モンゴル語との比較対照的に—	「日本語・日本文化」7号 大阪外大留学生別科	1978. 3
2	翻訳についての一考察 —翻訳における〈アジア的視点〉について—	「日本語・日本文化」8号	1978. 9
C 1	感情表現について —日本語教育のための日本語と外国語との「格」の対照研究—	日本語教育研究協議会	1978. 3
■小矢野 哲夫			
B 1	動詞「走る」を中心とする述語のアスペクトとテンス—アスペクト・テンス考察の一視点— —視点—	「国語学研究」17 東北大学文学部「国語学研究」刊行会	1977.12.28
2	打消助動詞「ない」の一特性 —アスペクトを表わす場合—	「日本語・日本文化」 8号 大阪外大留学生別科	1978. 9.25
■吉田 弥寿夫			
B 1	ジャンルと文体	「海馬」 第3号	1978. 3
2	歌物語の作者—吉井 勇	「別冊1億人の昭和史—昭和詩歌俳句史」 毎日新聞社	1978. 4
3	詩における散文的自伝様式の問題	「関西アララギ」	1978. 7
4	続定型短歌論—韻律学的考察	「雁」 第13号	1978. 7
5	名歌鑑賞	「大阪人」連載中	
B 6	歌壇時評	「点字毎日」連載中	

■ 生森 将人

A 1	音韻論総覧（共訳）	大修館書店	1978. 9.10
A 2	Хрестоматия по русской культуре (I)	三支社	1978. 3.31
B 1	「漂海紀聞」の中に見られるロシア語	「日本語・日本文化」第7号	1978. 3.15
	—その1—	大阪外国語大学留学生別科	
2	「漂海紀聞」の中に見られるロシア語	「日本語・日本文化」第8号	1978. 9.25
	—その2—	大阪外国語大学留学生別科	